

課題2のテーマ

暗号解読に挑戦

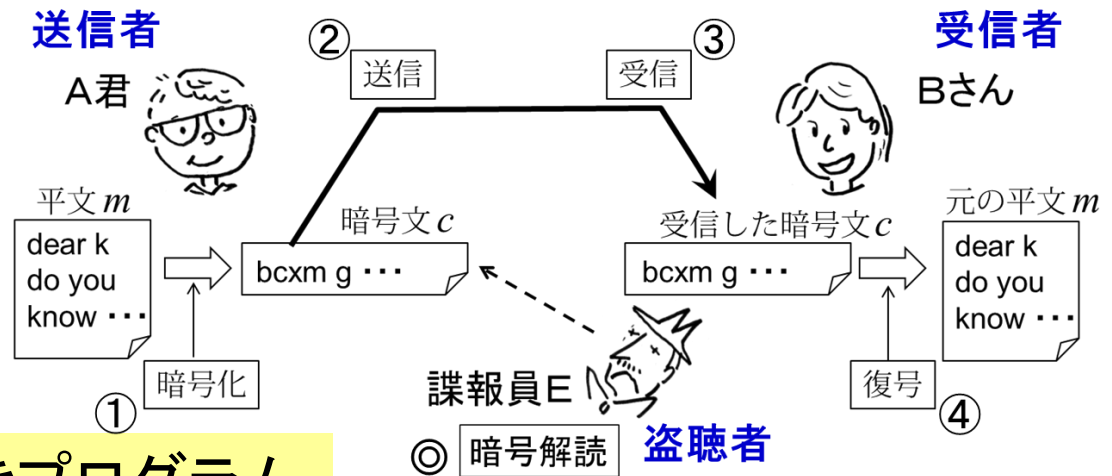
課題2のレポート内容 (数字は配点: 満点 20, 加点 10 まで)

1. 暗号解読プログラムの使い方の説明.
 2. 暗号解読プログラムの仕組みの説明. (10+加点)
工夫した点も書くこと(これは別途加点項目となるので重要).
 3. オプションル (~ 10)
 - ・ 自分独自の暗号方式の提案と暗号化, 復号プログラムの説明
 - ・ チャレンジ暗号の解読(そのための補助のプログラムの説明)これに対しても工夫した点がよければ別途加点項目になる.
- 注)** 採点者は**ソースコードは読まない**, という仮定のもとに書くこと.
付録: 暗号化, 復号, 暗号解読のプログラムコード(あれば OK) (5)

×切 次回, 授業前に提出(9:30分まで). **×切を過ぎると
受け取らない**場合もある. なお事前提出も可能.

課題2のテーマ

暗号解読に挑戦



レポート#3で作成すべきプログラム

1. 暗号化プログラム `ango.rb`
2. 復号プログラム `hukugo.rb`
3. 暗号解読プログラム `kaidoku.rb`

オプションで

- 4 (a) 自分流の暗号方式の `myango.rb`, `myhukugo.rb` もしくは
(b) チャレンジ暗号を解読するための `mykaidoku.rb`

発展課題(オプション)について

コンピュータ・サイエンス第1
クラス: xx 担当: XX
2016.11.xx

発展課題として以下もどうぞ.

(a) 自分流の暗号方式の myango.rb, myhukugo.rb

- ・ 自分流の方式の提案
- ・ 暗号化や復号の方法の説明(工夫点など)
- ・ 付録でプログラムを印刷したものを付ける

(b) チャレンジ暗号を解読するための mykaidoku.rb

- ・ チャレンジ暗号 hx.txt の解読文
- ・ どうやって解読したかの説明

注)適切な説明があればプログラムを使わなくてもOK.

また, プログラムを道具として使って解読したら点が高い.

- ・ そのために使ったプログラム mykaidoku.rb の説明